

ほぼたきHP版

大分大学教育学部
附属小学校
平成29年6月16日



16日、大分県教育委員会の事業に協力し、5年3組は豊府高校で授業公開をしました。どのような事業かと申しますと、「かけ算九九表」という同じ教材を用いた小、中、高校の授業を見ることを通して、子どもたちの学びについて校種をこえて、論議するというものでした。5年3組の子どもたちの一生懸命考える姿、友だちと前のめりになって話し合う姿、相手に伝えるということを意識して説明する姿をはじめ、前田教諭の子どもの意見を引き出し、つなげる姿は参観者の高い評価を得ました。この日は6年生が財務省の財政教育プログラムの授業も受けました。これも本来の附属の役割を担う活動で、財政について実際に授業として位置づけるとしたら、どのような活動が可能かを附属の子供たちとの授業を通して確立していくというものです。今後、実際の授業化に向けて附属の教員が協力していくようになると思います。この授業後に実際に教壇に立ってくださった九州財務局の方は子どもたちの「熱を持って聴く姿」がすばらしく、子どもの前で話をするのが本当に楽しかったという評価を下さいました。財政教育プログラムの様子はOBSテレビや大分合同新聞で紹介されました。

